

## 2016(10月) No.**572**

■発行所/**岩手県土地改良事業団体連合会** 盛岡市本宮二丁目10番1号 TEL(盛岡)019(631)3200 FAX(盛岡)019(631)3260 ■編集発行人/田山 清 ■印刷所/永代印刷株式会社

http://www.iwatochi.com



#### **CONTENTS**

●参議院選挙に寄せて2
●農業農村整備予算の確保を要請2
●国の29年度概算要求に向けた要請活動3
●予算確保に向け取組を強化3
●「農業農村整備の集い」が開催4
●「愛農耕土」に思いを込めて 5
●工事の安全を願って 5
●ふるさと水と土ふれあい学習会 6
●予期せぬ自然災害に備えて
●めまぐるしく変化する農業情勢に対応するために 7
●次代を担う技術職員の確保に向けて8
●「本宮たんけんたい」来訪 8

# 「ずっしり ぼくが刈ったよ」 長谷川 亜希子 平成27年度「農村景観」写真コンクール 人物部門 最優秀賞

#### 参議院選挙に寄せて



私は、この度の参議院選挙におきまして、当選の栄に浴することが出来ました。

今後は、土地改良に関係する方々が心を一つに していただいた結果を胸に刻み、皆様のご期待に 応えるよう頑張ってまいります。

さて、私は、全国を回り皆様から色々なご意見を伺ってまいりましたが、農政新時代を拓いていく上で、その基盤となる農地と水利施設の保全と機能の向上に不可欠な予算の確保が必要であるとの認識を深くしたところです。

私は、「土地改良は日本の命綱」であることを強く訴えてまいりました。これからも固い決意の下、微力ではありますが、皆様とともに活動してまいる所存であります。

今後とも皆様のご理解とご支援、そしてご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。 結びに、岩手県土地改良事業団体連合会の益々の発展と、会員の皆様お一人おひとりのご健勝 とご多幸をお祈り申し上げます。

平成28年8月吉日

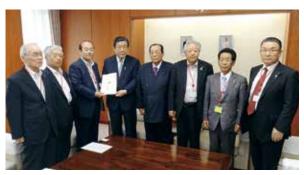
都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問 参議院議員 進藤金日子

# 農業農村整備予算の確保を要請 - 東北·北海道土地連連絡協議会が農水省、財務省、復興庁へ要請

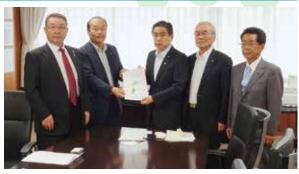
東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会(会長:佐貝全健山形県土地改良事業団体連合会会長)は、5月31日、農林水産省、財務省及び復興庁に対し要請活動を行った。

今回は、『新たな農業政策の実現に向けた 29年度農業農村整備関連当初予算の確保』、 『TPP大筋合意に伴う十分な国内対策の実施』 と、東日本大震災からの再生・復興に関連し『農 地・農業用施設の復旧・整備に必要な財源の確 保と十分な予算措置』について要請した。

農林水産省では、森山裕農林水産大臣へ要請



【森山大臣(左から4人目)に要請書 を手渡す佐貝会長(左から3人目) と及川本会会長(右から2人目)】



【若松副大臣(左から3人目)に要請書 を手渡す佐貝会長(左から2人目)と 及川本会会長(右から1人目)】

を行い、大臣からは「29年度予算の確保について要請を受け止め、農水省を挙げて努力をしていきたい。東日本大震災からの復興に向けては、現場を見て、もうひと踏ん張りしなければならないと感じた」と力強いコメントを頂いた。

復興庁では若松謙維復興副大臣へ要請を行い、副大臣からは「今年度から復興創生期間となるが、総枠の予算は確保しているので安心していただきたい。29年度の概算要求については、農水省と連携して予算確保していきたい」と回答を頂いた。

# 国の29年度概算要求に向けた要請活動 ― 県と合同で農林水産省へ要請 ―

本会は7月27日、農林水産省に対し、国の29年度予算概算要求に向けた要請活動を県と合同で行った。

上田幹也県農林水産部副部長と千葉匡農村建設課総括課長、及川正和本会会長が室本隆司農林水産省農村振興局次長、印藤久喜整備部長に面会し、『農業水利施設の老朽化対策や水田の汎用化を行い、生産性の向上や収益性の高い農業実現のため29年度農業農村整備事業予算の十分な措置』に加え、『28年度予算の追加



【室本次長(左から4人目)に要請書を 手渡す上田副部長(左から3人目)と 及川本会会長(右から2人目)】



【印藤部長(左から2人目)に要請の様子】

措置と、TPP関連対策予算の継続的な措置』について要請した。室本次長からは、「基盤整備を契機とした『高収益の農業』実現に向け、29年度予算の確保等について、しっかり取り組んでいきたい。今年度の補正予算についても、より弾みをつけて確保したいと考えているので、地方の皆さんの支援を願う」とコメントを頂いた。

また、印藤部長からは、「基盤整備の効果を 十分にアピールし、予算の確保に取り組んでい きたい」との回答があった。

# 予算確保に向け取組を強化 — 全国農業集落排水事業推進協議会が通常総会を開催 **-**

7月28日、全国農業集落排水事業推進協議会 (会長: 野上憲幸青森県土地改良事業団体連合 会会長)は、都内で第27回通常総会を開催した。

来賓として進藤金日子参議院議員、宮崎敏行 農林水産省農村振興局整備部地域整備課長の出 席のもと、全国から会員50名が参集した。

開会にあたり野上会長は「全国約5,100箇所で稼働している農業集落排水施設は、設置から20年以上経過し、今後、大規模な更新や修繕が必要となる。協議会が一つになって29年度の農業農村整備予算確保に向け取組を強化していきたい」と挨拶した。



【挨拶する野上会長(左から2人目)と 来賓の進藤参議院議員(左から1人目)】



【祝辞を述べる進藤参議院議員】

続いて進藤参議院議員は、「集落排水事業は、 これまで農村地域の活性化を図ってきた重要な 事業である。今後、農業集落排水事業の課題が 解決され、地域における農山漁村の生活環境が さらに良くなることをご期待申し上げる」と祝 辞を述べた。

議事では27年度事業報告・収支決算並びに 28年度事業計画・収支予算(案)が上程され、 審議の結果、原案のとおり可決承認された。

役員改選では、監事に及川正和本会会長ほか 7名の候補が選出され、満場の賛同を得て新役 員が選任された。

# 「農業農村整備の集い」が開催 一予算の確保に向けて一致団結 一

5月30日、全国土地改良事業団体連合会(二階俊博会長)は、平成29年度農業農村整備事業関係当初予算の確保と、本年度の追加的な予算措置の実現に向けて『農業農村整備の集い』を開催した。

集いには、全国の土地改良事業関係者約 1,000名が参集し、来賓として加藤寛治農林水 産大臣政務官をはじめ、稲田朋美自由民主党政 務調査会長、石田祝稔公明党政務調査会長ら多 数の国会議員の御臨席のもと盛大に開催された。

開会にあたり二階会長が、「昨年は、財政事情が厳しい中、28年度予算の増額要求に向けて全国の同志の皆様と強力に取り組んだおかげで、27年度の補正予算と合わせて 1,222億円に及ぶ額を確保する事が出来た。改めてお礼申し上げる。また、29年度の概算要求については、財政事情が一段と厳しくなる中、農業農村整備は未だ十分な状況とは言えない事から、引き続き一致団結して必要予算の獲得に向け全力で臨んでいく」と力強く挨拶した。



【挨拶する二階全土連会長】

続いて、加藤政務官は「農地と農業水利施設等がしっかりと整備されて、初めて強い農業と美しく活力ある農村を実現できる。今後も最大限の予算確保に努めていくので、皆様方には、より一層お力添え頂きますようご期待を申し上げる」と祝辞を述べた。

また、稲田政務調査会長は「過去に7割近く削られた土地改良の予算を、しっかりと本予算のところで戻していくため、二階会長とともに頑張っている。また、TPP対策については、27年度補正予算で990億を盛り込むことが出来た。この対策は一年限りではなく、これからも続いていくものであり、皆様方に応援をいただきながら頑張って参りたい」と祝辞を述べた。



【祝辞を述べる稲田政務調査会長】

その後、進藤金日子都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問が農業農村の情勢を報告し、最後に「土地改良は日本の命綱である。この綱をしっかり守っている農家や土地改良区の皆様の声をお聞きし、国政にお届けする。まさにキャッチボールの強靭なボールの役目となって、農業農村を巡る課題を一つでも多く解決できるよう、これからも全身全霊で頑張っていく」と述べた。



【報告する進藤顧問】

次に、事例発表として、島根県安来市土地改良区は『大区画ほ場整備地区における農業競争力強化の取組』について、山梨県笛吹川沿岸土地改良区は『大規模畑地かんがい地区における農業競争力強化の取組』についてそれぞれ発表し、続いて熊本県土地改良事業団体連合会が熊本地震の被災状況と復旧の取組について報告した。

おわりに『29年度当初予算の十分な確保』や『28年度予算の追加的な予算措置を講ずること』を主とする要請案文が力強く読み上げられ、全会一致で採択し、参加者一同によるガンバロウ三唱で閉会した。

# 「愛農耕土」に思いを込めて

#### - 県営経営体育成基盤整備事業古城地区が完工

平成14年度から奥州市前沢区古城地区で進められていた『県営経営体育成基盤整備事業古城地区』が完工し、同事業施行委員会(三浦強委員長)は、6月17日に古城地区センターにおいて完工式典を開催した。

式典に先立ち、同市前沢区旧古城小学校跡地で行われた完工記念碑除幕式では、達増拓也岩手県知事が『愛農耕土』と揮毫した記念碑が関係者の手によって除幕された。

完工式典では、はじめに三浦委員長が式辞を述べ、煙山義史県南広域振興局農政部農村整備室長がこれまでの事業経過について報告した。次に来賓の堀江淳県南広域振興局長、及川敏幸



【除幕式の様子】



【祝辞を述べる及川理事長】

奥州市前沢総合支所長に続いて、及川正和胆沢 平野土地改良区理事長(本会会長)が「本日を 古城地区の新たな農業農村の幕開けとして、記 念碑に掲げられている『愛農耕土』の精神のも と大いに発展されますことをご祈念申し上げ る」と祝辞を述べた。

本事業は、標準区画を1haとするほ場整備228haをはじめ、用水路のパイプライン化、排水路のコンクリート装工、農道や暗渠排水の整備など30億9,200万円の事業費で実施された。

この事業により、営農組合や担い手農家へ農 地の利用集積が図られ、より一層効率の高い安 定した農業経営の確立が期待される。

## 工事の安全を願って

#### 一 国営豊沢川農業水利事業安全祈願祭が開催

豊沢川地区国県営土地改良事業促進協議会 (会長:平賀巖豊沢川土地改良区理事長)並び に国営豊沢川農業水利事業安全対策協議会(会 長:菅原一生菅原建設 [株]代表取締役)は 8月31日、豊沢ダム管理所において平成27 年から事業着手されている『国営豊沢川農業 水利事業』工事の安全祈願祭を開催した。

この神事に関係者約50名が出席し、平賀協議会長をはじめ、来賓の鎌田知也東北農政局和賀中央農業水利事業所長、木村俊逸豊沢川農業水利事業建設所長、鈴木協二県南広域振



【玉串を奉奠する及川会長】



【挨拶する平賀協議会長】

興局北上農村整備センター所長、及川正和本 会会長が玉串を奉奠し安全を祈願した。

主催者挨拶で平賀協議会長は「ダム築造から50年以上経過し老朽化が進む中、早期改修に向け行った要請が実り、採択後の調査計画が迅速に進められて今日を迎えることができた。関係各位のご尽力に感謝申し上げるとともに、今後もご指導ご協力をお願いしたい」と挨拶した。

今後、工事が本格化し、豊沢川地区の整備 が一日も早く完了するとともに、地域農業の 確固たる基盤が築かれることを期待される。

# ふるさと水と土ふれあい学習会 一 農業用施設から受けている恩恵を学ぶ

8月6日、八幡平市松尾寄木の刈屋地区親水公園において、岩手山麓・松川・雫石町の3土地改良区が『ふるさと水と土ふれあい学習会』を共催し、同市や近隣市町から親子連れ約250名が参加した。

開会にあたり、遠藤實光松川土地改良区理事 長は「松川温水路上流でのニジマスのつかみ取 りやイワナ釣りを通じて、農地や農業用施設が 持つ多面的機能について学習してほしい」と挨 拶した。

学習会では盛岡広域振興局の職員が、安全な農作物を作るために欠かせない水を農地に供給している用水路管理の重要性や、田んぼの多面的機能について紹介する紙芝居を読み聞かせた。続いて雫石町土地改良区の職員が『頭首工について』と題し、水を堰き止めた温水池で、水温を上昇させてから田んぼに流し、稲の生育を助けている仕組みを説明した。

その後、参加者らは親水水路に移動し魚のつかみ取りや温水路の釣り大会に参加し、夏休みの一日を親子で楽しんでいた。



【紙芝居を聞く参加者ら】



【「捕まえた!!」と喜ぶ児童】

# 予期せぬ自然災害に備えて - 平成28年度災害復旧事業研修会を開催

5月30日、本会会議室において岩手県農村防災・災害対応支援連絡会主催の『平成28年度災害復旧事業研修会』が開催され、県・市町村・土地改良区・コンサルタント等の災害復旧に携わる担当職員約120名が参加した。

研修に先立ち、村居拓道県農林水産部農村建設課水利整備・管理担当課長は、「先月発生した熊本・大分の大規模な地震や、昨年度に関東・東北を襲った豪雨など、災害はいつどこで発生しても不思議ではない。近年、市町村ではNN事業の技術職員が減少し、経験の浅い職員が少人数で災害対応をしなければならない状況にある。市町村をはじめ参加いただいた皆様がそれぞれの立場で本研修内容の理解を深めていただきたい」と挨拶した。

研修では、県担当者が農地・農業用施設災害に係る『暫定法』の解説や災害復旧工法の基本事項の説明に続き、査定設計書作成の簡素化に向けた取組として、水土里情報システムを用いた平面図への利活用や写真測量を用いた縦横断図の作成、被災状況写真の簡素化

について紹介した。

さらに、本会職員が水土里情報システムの利用団体向けにサービス提供を開始している現地確認用タブレットの活用例を紹介し、調査においてGPS機能により被災位置、調査内容、状況写真が一括で記録でき、被害状況の把握・整理に有効であることを説明した。

今回の研修で紹介された現地確認用タブレットは、8月30日に本県を襲った台風10号による豪雨災害において、被災箇所の迅速な調査のツールとして、その性能を如何なく発揮している。



【現地確認用タブレット】

## めまぐるしく変化する農業情勢に対応するために 一 平成28年度水土里ネット職員研修会を開催 一

本会は7月14日~15日、花巻温泉ホテル 千秋閣において会員土地改良区職員等62名が 出席して平成28年度水土里ネット職員研修会 を開催した。

開会に当たり、本会の本宮親事務局長が「県と本会において岩手県土地改良区運営基盤強化基本方針を策定し、その中に、今回の研修のメインとなる複式簿記会計導入が位置づけられている。今後、複式簿記会計導入を進めていく際に生じる課題を会員と一緒になって考え、また県の方々とも相談しながら取り組んでいきたい」と挨拶した。

研修1日目は、松葉寿信県農林水産部農村計画課主査から今年4月に施行された『行政不服審査法』の改正内容と、平成29年までに全面施行される『個人情報保護法』の改正における土地改良区の対応について説明があった。



【松葉寿信主査】

続いて、佐々木茂上野法律ビジネス専門学校教務部係長が複式簿記会計の仕訳と減価償却について、土地改良区の実務に沿って演習を交えながら講義した。佐々木氏には、昨年に引き続いて講師を務めて頂き、前回参加した受講者からは「今回、テキストが改良区の内容に沿っていたため、より実践的な会計について学べてよかった」、「説明が丁寧でわかりやすかった」などの感想が寄せられ、着実に複式簿記会計の理解を深めている様子だった。

2日目は、鹿糠幸治本会事業調整監と山澤悟 主査から、多面的機能支払などの現地確認業務 に『タブレット』を活用し、作業の効率化を図っ



【佐々木茂講師】

た水土里情報システムの新しい活用法を紹介した。

研修の最後に、五日市知香㈱パイロットフィッシュ代表取締役が『県内農林水産物を活用した農業の6次産業化~小さな力の商品開発~』と題して講義した。商品開発では、つくる側がしっかりとした方向性を持ち、消費者のニーズを確実に捉えることが大切であると、自身が携わった事例をもとに説明し、受講者らは五日市氏の地域を元気にする取組を興味深く聴講していた。



【五日市知香講師】



【熱心に聴講する受講者】

# 次代を担う技術職員の確保に向けて 一 岩手大学の学生が豊沢川地区で農業用施設の役割を研修

本会では、6月9日、次代を担う若い世代に 農業農村整備事業の概要やその役割に理解を深 めてもらうため、豊沢川土地改良区管内の農業 用施設の現地見学会を開催した。見学会には、 岩手大学農学部金山准教授、山本准教授、濵上 准教授をはじめ、同学部共生環境課程3年次 の22名が参加した。

豊沢川土地改良区の水がめである豊沢ダムでは、岩手県北上農村整備センター豊沢ダム管理所の照井勇司主任技能員から、「豊沢ダムは、花巻市及び北上市にまたがる4,250haの水田地帯に農業用水を安定供給するための重要な水源施設である。ダム建設後53年余りが経過し、老朽化が進んでいるため、平成27年度から平成34年度の8年で、ダムを改修する。また、ダムからの有効落差を利用した小水力発電施設を新設し、維持管理費の軽減を図っていく」と説明を受けた。その後、新田堰頭首工、宮野目揚水機場を視察し、豊沢川土地改良区の佐藤光



【新田堰頭首工の説明をする佐藤事業課長】

広業務課長より、農業用施設の役割について説明を受けた。

最後に本会を訪れ、水土里ネットいわての 業務概要のほか、水土里情報システムの紹介を 行い、学生自ら、水土里情報システムに備わる 各種機能に興味を持ちながら、パソコンやタブ レットを操作していた。

# 「本宮たんけんたい」来訪 - 本宮小学校2年生が生活科の学習を実施 -

6月28日、本会において、近隣にある盛岡 市立本宮小学校の2年生が、生活科学習の一環 として職場見学を行った。

"本宮たんけんたい"と称し、各班に分かれ 来訪した児童達は、緊張した面持ちで出迎えた 本会職員に挨拶していた。

はじめに、農村整備課の担当職員が仕事の内容について、形の悪い田んぼを整えて働きやすくすることや、用水路で田んぼに水を届けることを説明した後、配水する給水栓の実物を見せた。 続いて換地課では、測量機器を設置して児童



【給水栓について説明を受ける児童達】



【測量機器を覗く児童】

に視準させるとともに、実際に距離の計測を体験させた。児童達は、簡単に距離の測定ができる機能に、とても驚いた様子だった。

最後に、水土里情報推進室では地図情報をパソコンのディスプレイに表示させて、小学校や 自宅の位置を確認していた。

普段、"水土里ネットいわて"の看板を見て何をする職場なのか疑問に思っていた児童は「どのような職場なのかわかりました。楽しいたんけんができました」と感謝の言葉を贈っていた。

#### 水土里ネットいわて今後の行事予定

2016年10月25日(火)・・・・・・第39回全国土地改良大会(石川県) 2017年2月7日(火)~8日(水)・・水土里ネット役員研修会(盛岡市)